令和５年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第５回ＦＤ・ＳＤ研修会（全学共通研修会）報告

日　　時　　令和５年11月15日（水）　15時10分～16時30分
場　　所　　常葉大学静岡草薙キャンパス　A201教室
　　静岡瀬名キャンパス　大会議室
　　静岡水落キャンパス　207教室
　　浜松キャンパス　　601教室
研修内容　　学生アンケート結果・授業アンケート結果について
講　　師　　学生部長　今村　貴幸・教務部長　笛木　茂雄
　　（静岡草薙キャンパスにて講演、各キャンパスへオンライン配信）
出席者数　　常葉大学静岡草薙キャンパス　197人
　　静岡瀬名キャンパス　18人
　　静岡水落キャンパス　68人
　　浜松キャンパス　122人
　　合　計　405人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

本年度第５回は「学生アンケート結果・授業アンケート結果」をテーマに、FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

まず、今村貴幸学生部長から「学生アンケートの結果について」として、「学生生活アンケート調査の目的」「アンケート調査結果（2019年・2021年・2023年の比較）」「まとめと課題」について講演があった。3ヵ年の比較から学生生活アンケート回収率は、4キャンパス平均でおおよそ「70％～80％」の回収率であった。具体的な調査結果として、「学修状況」「学生支援」について、概ね良好な評価であった。入学後のトラブルは減少傾向であるものの一定数存在していることから、数値的に少ない課題への対応の必要性について説明があった。

続いて、笛木茂雄教務部長から「授業アンケートの結果について」として、「授業アンケートの意義」「授業アンケートの状況」「他大学等との比較」について講演があった。「授業アンケートの回収率」は、授業ごとにQRコードによるWeb回答に移行した2022年度以降、おおよそ「70％」（大学及び短大における前期・後期）の回収率であり、量・質ともにデータ分析するうえで十分な回答を得ているとのことであった。2022年度全国学生調査（第3回施行実施）の全国平均値とほぼ同様に、本学においても、大学での学びによって自身の成長を実感している学生が約8割いることがわかった。

学生アンケート・授業アンケートともに、学生への今後の学生支援・教育支援のあり方等を検討する重要な指標を担っていることからも、継続的な実施とそれに基づく改善・対応等が不可欠である。